

第1回 日本大学校門建築会学生設計コンペティション応募要項

未来の住処（すみか）をデザインする

伊東豊雄

昨年、栃木県宇都宮市で4人の建築家による明日の住空間のイメージが提案されました。藤森照信、西沢大良、藤本壮介3氏による実験的な住宅と、私のデザインによるキッチンを中心としたパビリオンです。

これらはそれぞれにコンセプトや表現は異なっていますが、自然環境との関係をテーマとした新しいライフスタイルが強くイメージされています。無機質で抽象的な空間ではなく、動物的な本能に訴えかけるプリミティブな住空間が提案されているのです。

人々に活き活きとした明るさや楽しさを与えうる21世紀の住処（すみか）とはどのようなもののでしょうか。西沢、藤本両氏の住宅に隣接する敷地に、あなた自身の未来の住処（すみか）を思いきり提案してください。

計画敷地条件：

敷地面積 / 261㎡

用途地域 / 第一種住居地域

許容建坪率 / 60%

許容容積率 / 200%

前面道路幅 / 7.1m(道路とのレベル差については、敷地写真から判断すること)

コンペの対象となる計画敷地は私有地なので、絶対に立ち入らないこと。見学する場合は道路からのみとすること。

設計条件：

1戸建ての住宅で、延床面積は200㎡以下とする。

階数、構造などは自由。

家族構成などの設定は自由。

審査員：

伊東豊雄（建築家・伊東豊雄建築設計事務所代表）

賞：

1等 / 1点（賞金10万円）

2等 / 1点（賞金3万円）

3等 / 1点（賞金1万円）

佳作 / 数点

応募資格：

日本大学・大学院に在籍するすべての学生。

ただし、学部生はグループでの応募を認めるが、大学院生は個人で応募すること。

第1次審査提出締切：

2009年10月30日（金）（必着）

第1次審査提出内容：

A1サイズ（841mm×595mm）用紙1枚。

平面図、立面図、断面図、アクソメ、パース、その他設計意図を説明するに必要と思われる図面や、模型写真、ダイアグラムなどの図版、文章などを各自選択して描くこと。

また、用紙の裏側に応募者の氏名、住所、電話番号、e-mailアドレス、所属学部・学科、学年を記入すること。

作品提出先：

各学部・学科教室事務室。

または校門建築会事務局へ郵送。

第2次公開審査：

2009年12月12日（土）

理工学部駿河台キャンパス1号館 CST ホール

第1次審査により若干名を選出し、通過者は図面、模型を追加製作してプレゼンテーションを行う。

第2次公開審査コメンテーター：

西沢大良（建築家・西沢大良建築設計事務所代表）

東建男（建築家・伊東豊雄建築設計事務所）

問合せ：

日本大学校門建築会学生設計コンペティション実行委員会

担当 / 佐藤慎也 satoh@arch.cst.nihon-u.ac.jp

主催：

日本大学校門建築会 <http://www.okenkai.jp/>

日本大学校門建築会学生設計コンペティション実行委員会：

実行委員長 / 重枝豊（校門建築会事業委員会副委員長、理工学部建築学科准教授）

実行委員 / 佐藤光彦（理工学部建築学科准教授）

／ 畔柳昭雄（理工学部海洋建築工学科教授）

／ 広田直行（生産工学部建築工学科准教授）

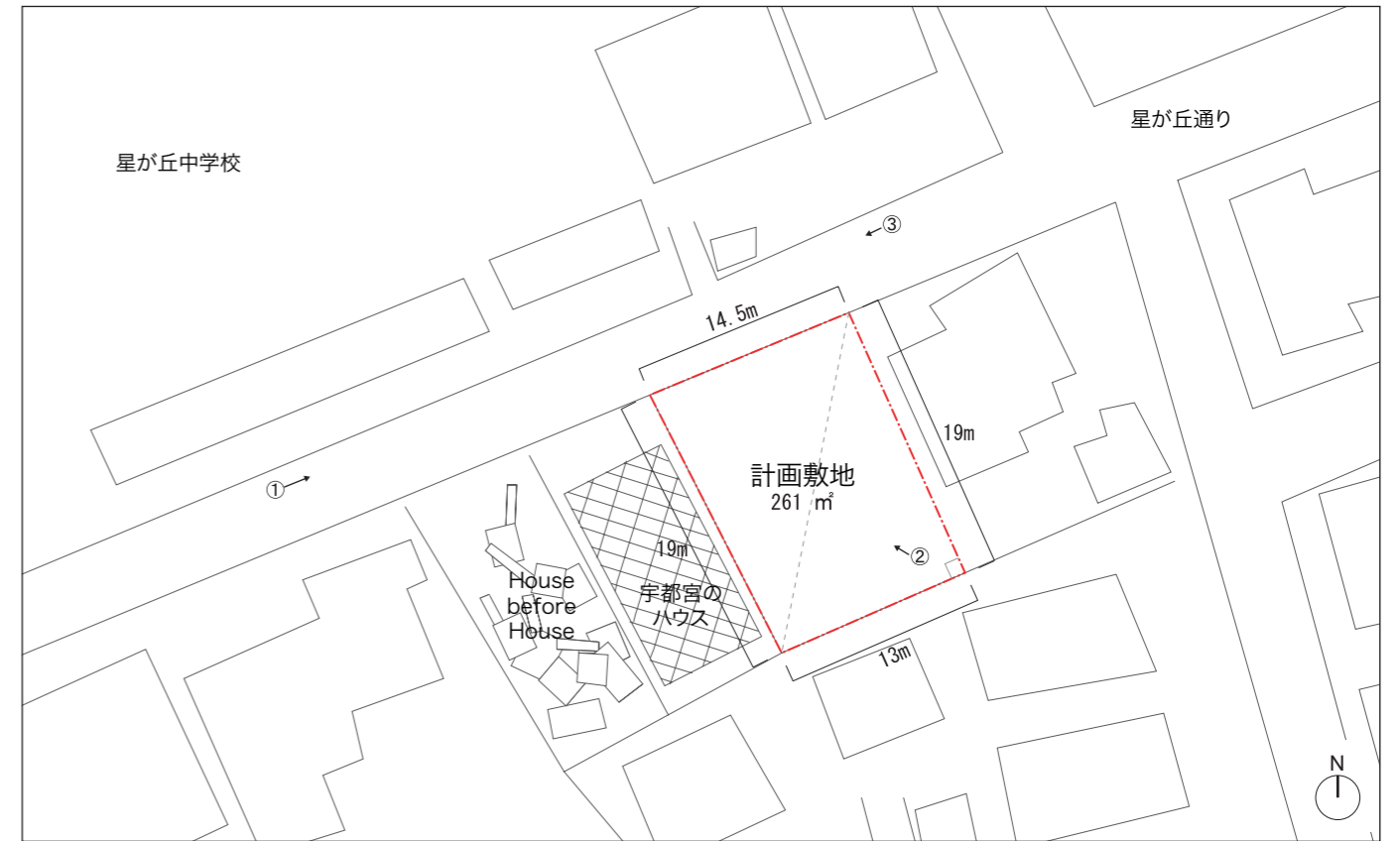
／ 浦部智義（工学部建築学科専任講師）

／ 田所辰之助（短期大学部建設学科准教授）

／ 佐藤慎也（理工学部建築学科助教）

計画敷地図：

栃木県宇都宮市星が丘1丁目



s=1/500

写真①



写真③



写真②



その他の計画敷地写真については、<http://tkmy.net/u41/2009/10/competition.php> を参照すること。